

講習の名称：歴史教育の課題と方向性

担当講師：藤森 健太郎（教育学部教授）

宮崎 沙織（教育学部准教授）

講習開講日：平成 30 年 12 月 25 日（火）

時間数：6 時間

主な受講対象者：

社会科・地理歴史科を担当する中学校・高等学校教諭

キーワード： 歴史学，教科書，新学習指導要領，育成すべき資質・能力，主体的・対話的  
的で深い学び

講習の概要：

知識偏重・内容注入など社会科学学習にみられる課題を踏まえ、学習課題の追究・解決を通して目指される資質・能力を育てる授業の在り方を、基礎講義や意見交流を通して考察していきます。前半では、そもそもの知識・内容について、学界の日進月歩に指導要領や教科書が追随しているのかどうかを検討します。後半では、新学習指導要領が示す方向性に留意し、その趣旨の解釈や位置付けを確かめながら、今後求められる社会科・地理歴史科学習の姿を探っていきたいと思います。

講習の展開：

第 1 時限 教科書・指導要領と歴史学の動向 ①大化改新について

第 2 時限 教科書・指導要領と歴史学の動向 ②平安時代の評価について

第 3 時限 社会科・地理歴史科学習を通して育成を目指す資質・能力（新学習指導要領の焦点）

第 4 時限 課題を追究したり解決したりする社会科・地理歴史科学習（社会科・地理歴史科の学習指導の実際）

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）

学習指導要領本文やその解説や教科書を、受講者各位の学校種（小中高）を中心に一読しておいてください。

授業の形式：担当講師からの講義および参加者相互の意見交流

テキスト・参考文献

◎中学校／高等学校学習指導要領解説

文部科学省のホームページからダウンロードし印刷することもできます。

書店で各学校種・各教科の学習指導要領解説を購入することもできます。